

原子核・素粒子実験施設実験ホールエレベーター比較検討表

H17.7.4

会社名	(株)ケイプラン	日本エレベーター製造(株)	日本オーチス・エレベータ(株)
駆動方式	ロープ式	スクリー式	水圧式
積載量(定員)	600Kg(9人)	600Kg(9人)	750Kg(11人)
速度	60~90m/min	30m/min	30m/min
かご内寸法	W1400×D1100mm	W1365×D1365×H2100mm	W1400×D1350×H2200mm
出入口寸法	W800×H2100mm	W900×H2000mm	W900×H2000mm
出入方向	一方向・前後	前後	一方向・前後
ピット深さ	1,250mm(最小600mm可)	150mm	150mm
昇降路材質	プレキャストコンクリート(PC)製 (鉄骨造も可)	鉄骨造(P.B+カー-鋼板)	鉄骨造(鋼板)
付加仕様		車椅子仕様 視覚障害者対応仕様(点字+ 音声合成装置)	車椅子仕様 視覚障害者対応仕様(点字+ 音声合成装置)
金額(税込、2台分)	39,400千円 (4人乗であれば10,000千円 位で可)	29,200千円	41,100千円
主な用途	アパート等の外壁に後付	駅舎等のバリアフリー対策	駅舎等のバリアフリー対策

注)実験ホールの可能なピット深さについて建築担当の宮原係長の確認してところ、基本的に300mmであり場所によっては600mmまでなら可能であるが、検討を要すとの事です。